

総括質問

今定例会では、15人の議員が議案や市政を問う「総括質問」を行いました。詳しい質疑内容は、会議録又はインターネット中継をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。



6月 定例会概要

6/7~6/30・会期24日間

- 6月7日 本会議(第1日)
 - 市長提出案件の上程
 - 市長の提案説明
- 6月16日~21日 本会議(第2~5日)
 - 総括質問
- 6月23日~24日 常任委員会
 - 23日 総務経済常任委員会
 - 都市建設常任委員会
 - 24日 環境厚生常任委員会
 - 教育民生常任委員会
- 6月30日 本会議(第6日)
 - 市長提出議案の表決
 - 請願の表決
 - 会議案の提出、表決

清風クラブ



市民と共に、健康・防災のまちづくり

佐藤 貴子 議員

健康づくり推進条例

問 条例第9条の八つの施策のうち、何から重点的に進めるのか。

健康・こども部長 平成28年度は、糖尿病重症化予防事業を進める。この事業は、40歳から70歳未満の方で、特定健康診査などの結果から、糖尿病重症化の恐れのある方を対象としている。保健師が自宅訪問や個別指導を行うとともに、集団指導への参加を募り、対象者が生活習慣の見直しを行うことで、重症化リスクを軽減することを目的とする。

熊本地震から考える

問 各避難所において、避難所運営マニュアルの見直しを、どのように行っているのか。

市長 マニュアルの見直しを、各避難所で毎年2回程度開催される避難所運営委員会で行っている。高齢者、傷病者、要援護者の収容施設について、福祉避難所として9か所を指定している。しかし、福祉避難所だけでなく、福祉的な配慮を必要とする市民が避難所を利用することも想定できる。このことについて、避難所運営委員会は、どの程度認識しているのか。

市長 避難所には、高齢者や障がい者など、支援を必要とする市民も避難することから、福祉的配慮の認識を持った運営スタッフが重要となる。今後は、東日本大震災などの被災地の避難所での活動経験のある職員による避難所運営委員会への助言や、避難所運営を支援

する福祉分野の外部団体の活用などを検討し、避難所運営委員会の認識や運営力の向上に努めていく。

海岸エリア魅力アップの方向性

問 短期的に取り組む事業の優先順位と概算費用について伺う。



農業施策と教育環境について

諸伏 清児 議員

都市農業について

問 都市農業における防災農地の必要性を伺う。

副市長 現時点で防災空間は、公園緑地において対応できるが、国の基本計画には、防災機能としての農地活用が示されている。今後は、事業の必要性も含めて対応について整理していきたい。

問 真田東部営農組合への市の支援などは余りないと

市長 海岸を訪れる方の安心・安全を確保するために、まずは、龍城ヶ丘プールの跡地とビーチパークの津波避難施設を含めた整備を進めていく。具体的な整備スケジュールや概算費用は、事業を進めるための法的規制や制約について、国・県などの関係機関と協議を行い、明らかにしていきたい。

問 湘南海岸公園や漁港の駐車場が、どのように生かされるかが回遊性の向上を図る上で重要なポイントと考えるが、見解を伺う。

市長 圏央道などの広域的な幹線道路網の整備により、国道134号の交通量が増加している。このことから海岸エリアには、車での来訪者が増えると考えられており、湘南海岸公園や漁港

必要があるのではないかと。産業振興部長 活動場所を多く確保し、中心商店街や地域のイベントへ出店できるように応援していきたい。

問 今後、子供たちの学びの充実には、タブレット端末を使用したデジタル教科書の導入が必要ではないか。

教育指導担当部長 本市でもタブレットを使用した授業を行っている。デジタル教科書は、副教材と位置付けられているため、各自治体での導入となる。価格が

高いため、予算などの条件が整えば検討していきたい。

問 2020年の東京オリ

ホストタウンについて

市議会のはてな? 議会をもっと身近に感じるための豆知識

定例会と臨時会

議会には、付議事件の有無にかかわらず、定例的に招集される定例会と突発的の事情などにより次の定例会を待つことのできない必要が生じた場合に随時招集される臨時会があります。定例会は、議会の権限に属する全てを審議することができます。これに対して、臨時会は、緊急を要するものでない限り、あらかじめ告示された事件に限って審議することとなっています。定例会は、一定の期間(本市では約1か月間)を会期とすることを前提として開いています。また、毎年、条例で定める回数を招集しなければならないとされており、本市では、3月、6月、9月、12月の年4回の招集を行っています。

ンピック・パラリンピックにおけるリトアニア共和国のホストタウンとして、学校では、どのような取り組みを行うのか。

学校教育部長 オリンピックに対する子供たちの機運を高めるため、小学校で

トアニア料理をメニューに取り入れた給食の実施を秋頃に検討している。将来にわたって思い出となる取り組みを行ってきたい。

このほかの質問 都市農業振興基本計画 スタジアム改修について